

2022年度 全日本社会人ホッケー選手権大会実施要項

- 1 大会名 2022年度全日本社会人ホッケー選手権大会
- 2 主催 (公社)日本ホッケー協会 日本社会人ホッケー連盟
- 3 主管 日本社会人ホッケー連盟、開催地都県ホッケー協会((一社)東京都、(一社)広島県、滋賀県、富山県、岡山県、茨城ほか)
- 4 後援 広島県、広島市、(公財)広島県スポーツ振興財団、(公財)広島県スポーツ協会、(公財)広島市スポーツ協会、朝日新聞社
- 5 期日 2022年9月3日(土)～10月16日(日)
プライマリーラウンド 9月3日(土)～25日(日)
ファイナルラウンド 10月14日(金)～16日(日)
- 6 会場 プライマリーラウンド(1回戦・2回戦・3回戦)
大井ホッケー競技場、小矢部ホッケーフィールド by 三井アウトレットパーク、境町ホッケーフィールド(茨城県)、OSPホッケースタジアム(滋賀県)、赤磐市熊山運動公園多目的広場(岡山県)ほか
ファイナルラウンド(準々決勝、準決勝、決勝、3位決定戦)
男子：大井ホッケー競技場、女子：広島広域公園第二球技場
※大井ホッケー競技場はメインピッチを使用
- 7 参加資格 2022年度(公社)日本ホッケー協会及び日本社会人ホッケー連盟の双方に登録し、ブロック予選会から推薦されたチームもしくは直近の全日本社会人ホッケー選手権大会でベスト4となり大会参加表明をしたチームの役員・選手。選手・役員は(公社)日本ホッケー協会に会員登録済みであること。監督は、(公財)日本スポーツ協会の「コーチ3(ホッケー)」以上の資格を有していなければならない。
- 8 参加人員 監督1名、コーチ1名、フィジオセラピスト・ドクター各1名(または手当とする者2名)、選手30名、その他チームの役員1名、計最大35名(ただし、ベンチに入る選手は18名に限る)
- 9 参加料 1チーム 40,000円
- 10 参加申込
◎参加申込 別途メールで通知するURLにアクセスし8月9日正午までに申し込むこと。
◎参加申込書 必要事項を記入しA・Bの両方にemailで8月16日までに同報送信すること。
送信先A (公社)日本ホッケー協会 info@japan-hockey.org TEL:03-6812-9200(照会)
送信先B 日本社会人ホッケー連盟 VEN13412@nifty.com TEL:090-2063-9335(照会)
◎参加料送金先 チーム名で8月16日までに送金すること
振込先福岡銀行 有田支店(261) 普通388459 日本社会人ホッケー連盟
- 11 競技規則 大会開始日に有効なホッケー競技規則と競技運営規程に則って行う。
- 12 試合方法 トーナメント方式により、1位から4位までを決定する。なお、すべての試合において延長戦は行わず同点の場合はシュートアウト戦とする。
- 13 組合せ 2022年8月9日(火)、(公社)日本ホッケー協会が定めた方法・場所で、(公社)日本ホッケー協会事業本部競技運営部、日本社会人ホッケー連盟の立ち合いのもと行う。

- 14 宿泊・弁当 宿泊予約等、詳細の案内は、プライマリーラウンド終了後、改めて連絡する。
- 15 開会式 未定
- 16 チーム代表者会議 プライマリーラウンドにおけるチーム代表者会議（監督主将会議）は実施しない。TD からの通達文をもって代表者会議に代える。ファイナルラウンドの実施形式は未定。案内は、TD から指示する。
※この TD が開催するチーム代表者会議（監督主将会議）には、必ず出席しなければならない。
※主に広告の確認のために、ファイナルラウンドの各チームの最初の試合の前にユニフォームチェックを行う。
※参加チーム・競技役員は 2022 年度競技運営規程付属書 4・2 の「行動規範確認書」を必ず提出しなければならない。最初の試合で T0 に提出すること。
- 17 閉会式兼表彰式 表彰式のみ会場で実施する。チームの賞杯は下記の通りとする。
優勝 日本ホッケー協会賞状・杯、日本社会人ホッケー連盟賞状・杯、朝日新聞社賞状
準優勝 日本ホッケー協会賞状、日本社会人ホッケー連盟賞状・杯、朝日新聞社賞状
第 3 位 日本ホッケー協会賞状、日本社会人ホッケー連盟賞状・杯、朝日新聞社賞状
第 4 位 日本ホッケー協会賞状、日本社会人ホッケー連盟賞状、朝日新聞社賞状
※上記に加えて、ファイナルラウンド開催地からの特別賞が授与される場合がある。
- 18 その他
(1) 背番号は 1 番から 99 番とし、参加申込後の背番号の変更は認めない。
選手のベンチ入りは、18 名とし、申込中(下記の変更したものを含む)から、試合毎に入れ替えることができる。
(2) 選手の変更・追加は併せて 5 名まで認めるが、別途定める期日・宛先までに必着するように提出すること。
(3) JHA 登録（会員証）確認は、2022 年 5 月 20 日 JHA 技術委員長発信の「試合前における登録（会員証）確認業務について」に従い、実施する。
(4) 選手は健康保険証を必ず携帯すること。万一負傷等の事故があった場合、応急処置はするが、その後の治療は参加選手自身と各チームの責任において行うこと。選手の健康管理には各チームで徹底すること。発熱などの症状がある場合は出場を控えるなど自重すること。プライマリーラウンドでは会場の新型コロナウイルス感染症の対応にしたがうこと。ファイナルラウンドでは、特別に新型コロナウイルス感染症対応の特別規則等を設けることがあるので、その規則に従って、お互いが新型コロナウイルス感染防止に努めること。
(5) 1 位～4 位チームの代表者は、必ず表彰式に出席すること。
(6) 大会参加に伴うチームの移動については、できるだけ公共交通機関を使わずチーム責任において行うこと。
(7) 競技会場での使用シューズは、人工芝シューズとし、スパイクシューズは不可とする。
(8) 2021 年 6 月 24 日付で JHA 技術委員会から通知のあった「監督、選手、コーチ、手当者の兼任の徹底について」を厳守すること。
(9) スターティングリストは、基本的にメール送信で行う。（詳細は後日連絡する）
(10) レッドカードを与えられた選手で次試合及び次試合以上の出場停止になった場合には、次試合以降のスターティングリストに「S」と記入しなければならない。その際、ベンチに入る人数は削減される。
(11) 本大会は、例年日本ドーピング防止規程に基づくドーピング検査対象大会であるが、感染防止の観点から実施は未定である。本大会に申込みした時点で日本ドーピング防止規程に従い、ドーピング検査を受けることに同意したものとみなす。また、未成年者である参加者はドーピング実施について親権者の同意書を提出しなければならない。本大会参加者は、ドーピング検査を拒否または回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、ドーピング防止規則違反となる可能性がある。ドーピング検査及びアンチ・ドーピングについては、JADA

のホームページを参照すること。

- (12) ボールサーバーの配置は感染拡大状況を見てTD（もしくはその代理）が判断する。ボールサーバーの配置がない試合には、各チームでボールを拾って、試合を再開すること。また、担架係も配置しないので、各チームの控え選手等で担架を担ぐこと。
- (13) 新型コロナウイルス対策については、日本社会人ホッケー連盟の指示に従うこと。従わないチーム関係者、観客等は会場への入場を禁止する。
- (14) 選手の安全面を考える上で、登録選手全員にマウスガードを着用させなければならない。マウスガードを着用できない場合は、その理由を書面にて（マウスガード未装着届）参加申込書と同様に email で提出しなければならない。また、ゴールキーパーのマウスガードの着用は強制しない。
- (15) 本大会の「男子上位 4 チーム」は、「第 96 回全日本男子ホッケー選手権大会」、「女子上位 4 チーム」は、「第 83 回全日本女子ホッケー選手権大会」の出場権を獲得する。
- (16) ファイナルラウンドからの参加チームには詳細を別途通知する。持ち回りのカップを保有するチームは開始前に主管協会に必ず返還すること。

新型コロナウイルス感染症の拡大状況により大会日程等を急遽変更することがあります。各チームにメールで通知し、詳細はウェブにて公開します。